住中だより

第１号　令和２年４月７日発行
大東市立住道中学校
校長　岡本　功
０７２－８７２－７３５１
HP 毎日更新しています！

入学・進学　おめでとうございます

４月１日付けで着任しました岡本です。本校には平成２０年度から５年間、校長として保護者、地域の皆様方には大変お世話になりました。二度目の着任にあたり、新たに身の引き締まる思いです。

本来ならば、まず、本校の教育目標や重点取組みをお知らせすべきところですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の状況により、入学式や始業式を執り行うことができず、５月６日（予定）まで臨時休業が続くなど、誰もが経験したことのない未曾有の年度初めとなっています。
生徒の健康面や生活リズム、学習・体力面など心配は尽きませんが、

◎学校として現状の中でできる限りの工夫をし、できることを着実に取り組みます。
◎最新、かつ正確な情報と危機感を共有して対応します。
◎情報、メッセージを積極的に発信します。

このような状況だからこそ、本校教職員一同、入学、進学する生徒に対して例年以上にお祝いの気持ちを持ち、学校再開に向けて誠実に準備を重ねてまいります。

日々、刻々と変化する状況ではありますが、４月８日の時点で明らかになっているのは、

□臨時休業期間：４月８日（水）～５月６日（水）《終了日は予定》
□始業式（４月８日）は延期　です。

本日発令される見込みである『緊急事態宣言』により、当初予定していました、臨時休業期間中の登校日の設定も困難であると考えています。

最新の情報は**ホームページ**を中心に発信いたしますので、毎日ご確認くださいますようお願いいたします。

コロナウイルス感染症対応『正しく恐れて』

大阪府は新型コロナウイルス感染拡大警戒地域として、緊急事態宣言の対象区域となると報道されています。

自分自身や家族、社会を守るため、一人ひとり「正しく恐れて」行動する必要があります。

※ 不要不急の外出を控えましょう。
※ 3密（密閉・密集・密接）条件が重なる所へは行かないようにしましょう。
※ 手洗い、咳エチケットを徹底しましょう。
※ 毎日検温をしましょう。
※ 生活リズムを整え、抵抗力を高めましょう。
※ 決まった時間に学習し、計画的に課題に取り組みましょう。

突然学校が休みになり、休校が長く続く「非常事態」です。保護者の皆様も子どもたちのストレスを心配されていることと思います。

できるだけ、規則正しい、いつも通りの生活が子どもたちの安心につながります。

ご家庭で見守りをお願いしますとともに、何かご心配なことがありましたら、学校へご連絡ください。

学校再開に向けて

５月７日（予定）の学校再開に向けて、臨時休業中に下記の項目について検討します。一定、目途がつき次第お知らせします。

〇新型コロナウイルス感染症対応の継続
〇学校行事日程の変更等
（宿泊行事については中止ではなく、延期の方向で検討中です。）
〇授業の未指導部分について、計画的な補充
〇相談体制の充実

山中伸弥教授（ノーベル生物学・医学賞）が新型コロナウイルス感染症に関してHP を立ち上げておられます。裏面にその一部を紹介します。

新型コロナウイルスとの闘いは短距離走ではなくマラソンです。1年は続く可能性のある長いマラソンです。疲れたり油断して止まってしまうと、感染が一気に広がり、医療崩壊や社会混乱が生じる恐れがあります。
一人一人が、それぞれの家庭や仕事の状況に応じたペースで走り続ける必要があります。国民の賢い判断が求められています。

【甲子園中止の本当の理由】
３月１１日、春の高校野球を中止するという衝撃のニュースが駆け巡りました。中止の報を受け、選手たちは「辛いけど、こんな状況だから仕方ない。夏に向けて頑張る」と涙をこらえながら答えていました。彼らの受け答えを見て私は涙を禁じえませんでした。主催者は「選手の安全を最優先に考え苦渋の決断をした」と理由を述べました。しかし、もし世の中に高校生しかいなかったら、高校野球も他の競技も中止になっていないと思います。高校生は新型コロナウイルスに感染してもほとんどの場合、風邪程度の症状しか出ません。高校野球が中止になったのは、選手の安全はもちろんですが、選手の周囲の高齢者を守り、さらには、感染者が急増して医療や社会が破綻するのを防ぐためです。選手は、周囲や社会のために自分たちの夢を犠牲にしてくれているのです。私たち大人も、彼らを見習って、力を合わせて、国難とも言える状況に対応しなければなりません。
そのためには新型コロナウイルスの特徴を理解する必要があります。
風邪やインフルエンザの流行では甲子園は中止になりません。